



れんごう茨城

2013年 11月 29日

No. 102

発行 日本労働組合総連合会
茨城県連合会
(連合茨城)

発行人・日下部好美 / 編集人・日下部好美
〒310-0022 水戸市梅香2-1-39
TEL 029(231)2020 / FAX 029(227)8610

ホームページアドレス
<http://ws1.jtuc-rengo.or.jp/ibaraki>

働く者の連帯で 「安心社会」を切り拓こう！

連合茨城 第21回定期大会開催！

10月30日(水)13時30分から、水戸京成ホテルにおいて、代議員、女性代議員、特別代議員、傍聴者228名が参加し、連合茨城第21回定期大会が開催されました。冒頭、主催者を代表して挨拶に立った和田会長は、新年度の重要課題を4項目に絞って決意と全組織の協力を訴えました。① 東日本大震災からの復興と再生、そして私たちが出来ることの実践。連合茨城ボランティアチーム「TEAM連合茨城」の役割強化 ② 2014春闘における賃金カーブ維持分2パーセント相当に加え、賃上げ1パーセント、格差是正分1パーセントの引き上げの実現 ③ 組織拡大運動での構成組織と地協との有機的な関係強化 ④ 産別政策・労働政策の前進のため政治活動の強化を図っていく、との考えと決意を述べました。

続いて、来賓として出席した連合本部・安永副事務局長、茨城県・橋本知事、茨城労働局・中村局長、民主党県連・郡司会長、社民党県連・井坂代表、各労働福祉団体代表、連合茨城推薦首長・県議、高退連合代表よりそれぞれ連帯の挨拶をいただきました。



第14期連合茨城新役員

大会は、議長団に細谷代議員(UAゼンセン)、小澤代議員(日教組)を選出し、2013年度活動経過報告、会計決算報告、会計監査報告が行われ、館野代議員(ヘルスケア労協)からの産別報告の追加補強を受け満場一致で承認されました。



冒頭挨拶（和田会長）

また、新規加盟5組合の紹介と記念品が贈呈され、代議員全体で激励を行いました。

引き続き、2014～2015年度活動方針（案）、2014年度予算（案）の提案がなされ、古渡代議員（自治労）館野代議員（ヘルスケア労協）から要望・意見が出され執行部の答弁後、満場一致採択されました。議事運営委員会に緊急提案案された「全吉田石油労組を支援しよう！」についても満場一致で採択されました。

その後、役員交代に伴う新役員の選出、組織拡大や地域功労などの表彰、「ディーセント・ワーク世界行動デー 2013アピール」「労働分野の規制緩和に反対し、社会的セーフティネットの強化を求める特別決議」「大会宣言」をそれぞれ満場一致で採択するとともに、和田会長の音頭で「団結ガンバロー」を三唱し閉会しました。

質疑討論

Question & Discussion



館野代議員
（ヘルスケア労協）

昨年、東京医大茨城医療センターの保険医取り消し問題については組織の協力を得て、地域医療を守るための支援の要請をさせていただきました。本来、取り消し期間は5年でありましたが、連合茨城、各構成組織、地域協議会、地域の皆さんに署名活動等のご協力を頂き、県知事要請などを行なった結果、おかげさまで3ヶ月という非常に短い期間での保険診療再開となりました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。もう1点は、7月に発表された水戸日赤病院の分娩予約の休止問題です。これにより、水戸地域・県北地域を中心に茨城県内の産科医療が危機的状況に陥ることが明らかとなりました。連合茨城及び各構成組織の協力により請願署名活動を取り組み、おかげさまで、4万9千筆の署名を集約することが出来ました。感謝申し上げますとともに、現場では6名の医師が確保出来、産科医療が再開出来ることとなりました事をご報告します。しかし、勤務医は8名から6名に減少したわけであり、医師への負担増など、様々な問題がまだまだあります。今後とも安定した周産期医療の確保に向け、ご協力をお願い致します。



古渡代議員
（自治労）

地方公務員の給与削減阻止の取り組みにご理解をいただき、4月には連合茨城、地域協議会の皆さんにご協力を頂き、県知事をはじめ県内全市町村長への要請行動を取り組むことが出来ました。残念ながら、自治労茨城県本部52単組中20単組で削減が実施されることとなりましたが、実施された単組でも、削減率の圧縮など一定の歯止めをかけることが出来ました。これも、連合茨城、各地域協議会の皆さんと連携した取り組みが出来た結果であり、感謝申し上げます。

政府は、次年度以降の算定見直しによる地方交付税の削減を目論んでおり、地方公務員の給与削減の継続についても言及してきています。これら、政府・自民党が推し進めようとしている公務員給与の引き下げ攻撃に対し、あらためて県知事をはじめ県内全市町村長への要請行動、さらには地方3団体への要請行動など、ご協力をお願いすることもあるかと存じます。我々公務労働者がおかれている現状をご理解いただき、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

館野代議員
（ヘルスケア労協）

県西地域における新中核病院建設問題について、県知事との懇談会の中でも2回取り上げて頂きました。現在、筑西・桜川両市とも市長が変わり、病院建設について前向きなようです。私たちが「地域医療を守らなくてはならない」という事を両市長に訴えておりますので、連合茨城の皆様にも新中核病院建設実現に向け、引き続き県知事への要請等、ご支援をいただけますようよろしくお願い致します。

新 規 役 員



内山 裕
(電機連合)

山本 勇
(JAM)

沼田 孝博
(電力総連)

川又 和弘
(情報労連)

大久保暢之
(JEC連合)

吉田 悟
(全国競馬連合)

菊池 正見
(ヘルスケア労協)

功 勞 表 彰

役 職	氏 名	組 織	任 期	在任期間
副 会 長	打越 秋一	電機連合	2012. 10. 30～ 2013. 10. 30	1 年
副 会 長	石堀 栄	JAM	2011. 10. 26～ 2013. 10. 30	2 年
副 会 長	浜田 美彦	電力総連	2007. 7. 9～ 2013. 10. 30	6 年 4 ヶ月
副 会 長	宮永 義和	情報労連	2006. 10. 30～ 2013. 10. 30	7 年
副事務局長	坪 明弘	情報労連	2008. 10. 31～ 2013. 7. 31	4 年 9 ヶ月
執行委員	谷垣内弘毅	JEC連合	2012. 10. 30～ 2013. 10. 30	1 年
執行委員	仲澤 秀紀	全国競馬連合	2009. 10. 30～ 2013. 10. 30	4 年
執行委員	栗原 茂仁	ヘルスケア 労協	2010. 10. 28～ 2013. 10. 30	3 年
会計監査	佐藤 謙光	運輸労連	2008. 10. 31～ 2013. 6. 20	4 年 8 ヶ月
会計監査	五十嵐 修	フード連合	2012. 10. 30～ 2013. 10. 30	1 年

組織拡大による表彰 (2012年11月～2013年10月)

	組 織 名
1	電 機 連 合 茨 城 地 方 協 議 会
2	U A ゼ ン セ ン 茨 城 県 支 部
3	J E C 連 合 茨 城 地 方 連 絡 会

社会貢献活動による表彰 (2012年11月～2013年10月)

組 織 名	事 由
連 合 茨 城 県南地域協議会 稲 敷 地 区 協	稲敷地域の特別養護老人ホームなど複数施設の 館内、空調設備ダクト、庭、駐車場、側溝等の 清掃、整備を組織的かつ継続的に行っている。

新規加盟組合 (2013年度)

① 電機連合茨城地方協議会	
組 合 名	日立カーエンジニアリング労働組合
代 表 者 名	執行委員長 山口 秀行
住 所	〒312-0063 ひたちなか市田彦998-5
組 織 人 員	752人
組 合 名	パナソニックエコソリューションズSPT労働組合
代 表 者 名	委員長 工藤 義明
住 所	〒314-0014 鹿嶋市大字光3-5
組 織 人 員	25人
② JEC連合茨城地方連絡会	
組 合 名	関東化学一般労働組合 柴運送支部
代 表 者 名	委員長 石川 孝
住 所	〒300-3514 結城市八千代町大里43-1
組 織 人 員	30人
③ 基幹労連茨城県本部	
組 合 名	ビーエスエ工運労働組合
代 表 者 名	委員長 大竹 茂
住 所	〒314-0111 神栖市南浜7番地
組 織 人 員	47人
④ UAゼンセン茨城県支部	
組 合 名	UAゼンセン全吉田石油労働組合
代 表 者 名	委員長 加藤 一郎
住 所	〒310-0022 水戸市梅香大字2-1-39
組 織 人 員	50人

第14期 連合茨城執行体制

(2013年10月30日～2015年10月定期大会まで)

役 職 名	氏 名	組 織 名	備 考
会 長	和田 浩美	電機連合	
副 会 長	内山 裕	電機連合	新
	赤澤 義明	基幹労連	
	山本 勇	JAM	新
	佐藤 博文	UAゼンセン	
	沼田 孝博	電力総連	新
	渡邊 裕	私鉄総連	
	川又 和弘	情報労連	新
	秋庭健太郎	自動車総連	
	黒江 正臣	自治労	
	高野富二男	日教組	
	小野瀬哲生	J P 労組	
事 務 局 長	日下部好美	自治労	
副事務局長	高木 英見	UAゼンセン	
	佐藤 昭雄	電力総連	
執 行 委 員	蛭田 光一	電機連合	
	米崎 行二	基幹労連	
	大久保暢之	JEC連合	新
	河本 健三	化学総連	
	会沢 隆之	全国農団労	
	篠崎 忠宏	政労連	
	会田 隆徳	J R 総連	
	吉田 悟	全国競馬連合	新
	河野 重雄	UAゼンセン	
	菊池 正見	ヘルスケア労協	新
	真家 安朗	国公総連	
	川原井文夫	全水道	
	綿引すず子	情報労連	
	藤田 晴美	日教組	
	青山 哲也	県北地域協議会	
	桑名 勝弘	常陸野地域協議会	
	赤上 正明	中央地域協議会	
	篠塚 和弘	鹿行地域協議会	
	久保田利克	土浦地域協議会	
	木村 太一	県南地域協議会	
	樋口 健一	県西地域協議会	
会 計 監 査	永島賀津夫	フード連合	新
	飯泉 誠	運輸労連	
	本間 清	森林労連	

ねらいは正社員ゼロ!! 生涯ハケンで低賃金!!

異議あり!!!

今、政府は

- ①「生涯」ハケンで「低賃金」のハケン法
- ② 残業代ゼロ制度の導入
- ③ クビ切りの自由化
- ④ クビにされやすい正社員制度の普及・拡大

等、労働者保護ルールを改悪を行おうとしています。連合はこうした動きに対し、全国統一街宣行動を11月～12月の二か月間にわたって計画しています。連合茨城としても改悪阻止に向けての組合員への啓発活動と世論喚起のため、県内主要駅頭で各地域協議会による駅頭でのチラシ・ポケットティッシュ配布行動、街宣行動を行っています。政府の政策は、ハケン労働者を生涯派遣社員として低賃金で働かせる仕組みをつくることや、一定の年収以上の労働者を労働時間に関係するルールから対象外にする制度の導入など、労働者保護のための法律を改悪しようとしています。労働者の犠牲の上に進めようとしている経済成長は必要ありません。



県北地協街宣（小木津駅前）



中央地協街宣（水戸駅前）

2013 環境フェスタ

連合茨城青年委員会

Festa

11月19日（火）午前9時から城里町・小勝の大藤国有林において、連合茨城青年委員会（委員長・大貫洋一）主催の、「2013環境フェスタ」（森林間伐作業）が実施され、各構成組織から青年・女性メンバーなど54名が参加しました。

この取り組みは「連合」方針の一つである社会貢献活動推進の取り組みの一環として、環境保全・保護の推進、森林の活用について理解を深める事を目的に、毎年開催しております。間伐は、込みすぎた森林を適正な密度で、健全な森林に導くため、また利用できる大きさに達した立木を徐々に収穫するために行う重要な作業です。

参加者のほとんどが、初めての経験とあって、樹木との悪戦苦闘を強いられましたが、班毎に協力し合って切り倒した瞬間の樹木の倒れるさまに、充実感と達成感を味わう事が出来ました。

間伐作業後は、《やまびこの郷》において、昼食交流会を兼ねたバーベキューを行い、産別間の交流を深め合いました。



間伐作業風景



伐採した樹木を運び出す